

第30回 秋田県JA大会

オール秋田で挑む組織・事業・経営改革

～協同の力で持続的な農業・地域の発展を目指して～



第30回秋田県JA大会が、11月28日に秋田市で開催され、①「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」の伸長、②協同組合の特性を活かした地域・社会への貢献、③不断の改革を支えるJA組織・経営基盤の確立などを盛り込んだ今後3年間の活動方針が承認されました。

「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」の伸長

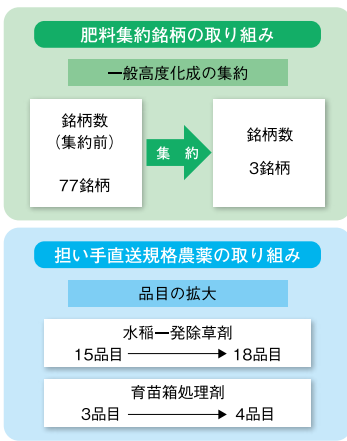
● マーケットインに基づく生産・販売モデルの確立

農業生産の拡大による生産者の所得増大を図るため、秋田米の販売を起点とした米づくりの推進と販売力強化による需要の確保と拡大、及び園芸作物等の生産拡大による複合経営支援に取り組みとともに、県産農畜産物のブランド力向上につながる生産・販売活動を展開します。

● 生産コスト低減による農業経営の支援

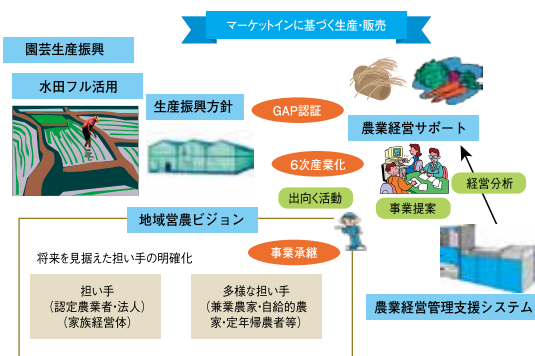
生産者の農業所得の最大化のため、共同購入運動による価格の引き下げの取り組み、担い手向け大型規格品やメーカー工場からの直行配送など、多様なニーズに対応する生産コストの低減、及び省力化と栽培コスト低減に努めます。

また、JAと連合会が連携したトータル生産コスト低減について、担い手の実態に合わせた提案と経



JA 地域農業戦略

地域農業ビジョンを積み上げ、地域農業振興に向けたJAの取り組みを明らかにした地域農業戦略としてまとめあげる。



営改善の検証を展開し、JAグループ自己改革の成果実証等に取り組みとともに、農業経営改善や先端技術の導入促進のため専門知識を持つ人材の育成に努めます。

● 地域農業の担い手と連携したJA地域農業戦略の着実な実践

JAグループ秋田は、地域の話し合いをもとに策定したJA地域農業戦略を中核的な担い手経営体及び多様な担い手とともに着実に実践して、地域農業の維持・発展に取り組めます。

また、JAの担い手に出向く体制を一層強化し、担い手経営体の経営課題の解決を図るほか、農業経営管理支援を起点とした、担い手経営体の経営規模・形態に応じた品目の多角化や複合経営への誘導などに取り組む、農業所得の増大を目指します。